

施設名	たやけ小やけふれあいの里
------------	---------------------

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)				
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	人員配置19人/日(事務室 7名・飲食及び宿泊施設 12名)	B	計画どおり。	繁忙期のひとつの5月が休園であったため、窓口などのお客様対応に追われることはなかったが、電話応対にかけられる人員が不足する場面がある。引き続き対策を検討していきたい。	B	計画どおり。	繁忙期を向かえ、園・いりりばなども臨時職員を活用して来園者対応を行った。電話応対にも多く、園職員の夏休の取得が困難な面があった。	B	計画どおり。	この期間を通して、電話対応も減り、大きな混乱もなく運営できた。時間外勤務も減少した。	B	計画どおり。	この期間も含め、年間を通して、大きな混乱もなく運営できた。	
	有資格者(危険物取扱責任者、動物取扱責任者、高所作業者運転、大型運転免許)合計4人程度/日	B	計画どおり。	職員のスキルを有効に活用し効率的な施設運営に心掛けている。	B	計画どおり。	職員のスキルを有効に活用し効率的な施設運営に心掛けている。	B	計画どおり。	職員のスキルを有効に活用し効率的な施設運営に心掛けている。	B	計画どおり。	職員のスキルを有効に活用し効率的な施設運営に心掛けている。	
	清掃回数/主な建物については週5~7回程度 園路については週2回程度	B	計画どおり。	引き続き清潔な園内を保てるよう心掛ける。	B	計画どおり。	草刈りを頻繁に行うなど、引き続き清潔な園内を保てるよう心掛けている。	B	計画どおり。	落ち葉清掃を行うなど、引き続き清潔な園内を保てるよう心掛けている。	B	計画どおり。	所要の回数の清掃を年間を通して実施し、清潔な園内を保った。	
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経営がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例:銀行口座】	B	特に問題なし	通帳と伝票の突合による支出管理を徹底している。	B	特に問題なし	通帳と伝票の突合による支出管理を徹底している。	B	特に問題なし。	通帳と伝票の突合による支出管理を徹底している。	B	特に問題なし。	通帳と伝票の突合による支出管理を徹底し、年間を通して、事故等は発生していない。
		資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例:独立した会計帳簿】	B	特に問題なし	会計帳簿システムにより収入や支出は仕訳帳、総勘定元帳にて適正な管理に努めている。	B	特に問題なし	会計帳簿システムにより収入や支出は仕訳帳、総勘定元帳にて適正な管理に努めている。また、手持ち現金の管理・確認を確実に実行している。	B	特に問題なし。	会計帳簿システムにより収入や支出は仕訳帳、総勘定元帳にて適正な管理に努めている。また、手持ち現金の管理・確認を確実に実行している。	B	特に問題なし。	会計帳簿システムにより収入や支出は仕訳帳、総勘定元帳にて適正な管理に努めている。また、手持ち現金の管理・確認を確実に実行している。
		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例:独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B	特に問題なし	日々の利用料金について、現金、領収書、日報等を照合するなど適正な処理に努めている。	B	特に問題なし	日々の利用料金について、現金、領収書、日報等を照合するなど適正な処理に努めている。	B	特に問題なし。	日々の利用料金について、現金、領収書、日報等を照合するなど適正な処理に努めている。	B	特に問題なし。	日々の利用料金について、現金、領収書、日報等を照合するなど適正な処理に努めている。
	収支計画が適正であること	B	4-5月の休園による減収を注視する必要がある。	5月の連休に休園したことがホテルの夕べの中止などが今後に影響するが懸念している。	B	上半期の実績を踏まえ、下半期事業計画等を見直された。	5月の連休を除き、上半期はほぼ順調に推移し、イベント等も予定通り実施できたが、5月休園分を取り戻すまでには至っていない。	B	引き続き年度末まで計画的に運ばれたい。	当期も、収支・入園者などほぼ順調に推移し、イベント等も予定通り実施できたが、5月休園分を取り戻すまでには至っていない。	B	4-5月に休園はあったが、季節ごとの収入増につながるイベントの開催など、収支改善に励んでいた。	この期間にふさわしいイベントを実施するなどしたが、5月休園分を取り戻すことはできなかった。	
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、繁忙期・閑散期に応じた適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例:事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	B	特に問題なし	事業計画に沿った人員体制を確保し、研修なども積極的に実施している。	B	特に問題なし	事業計画に沿った人員体制を確保し、研修なども積極的に実施している。	B	特に問題なし。	事業計画に沿った人員体制を確保している。	B	特に問題なし。	事業計画に沿った人員体制を確保している。
		給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例:給与規程・賃金台帳】	B	特に問題なし	出勤簿管理、賃金台帳作成など適正処理に努めている。	B	特に問題なし	出勤簿管理、賃金台帳作成など適正処理に努めている。	B	特に問題なし。	出勤簿管理、賃金台帳作成など適正処理に努めている。	B	特に問題なし。	出勤簿管理、賃金台帳作成など適正処理に努めている。
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例:財務諸表・財務評価表】	B	例年、春季に来園者が多く黒字が生じる傾向があるが、今年度は休園期間があったため注意が必要である。	5月の休園などから、資金繰りが厳しくなることが想定されたが、現状では大きな心配は無用と考えている。	B	例年閑散期となる下半期の運営に工夫された。	5月の休園があったが、現状は健全な状態にある。下半期の運営次第で経営状況の健全化が問われるところである。	B	閑散期に集客増を狙ったイベントを開催するといった工夫を講じられている。	12月末時点での経営状況は前年に比してより健全な状況にある。	B	特に問題なし。	この期間にふさわしいイベントを実施するなどし、前年に比して健全な状態である。
業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例:第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】		B	特に問題なし	施設の主たる運営等は第三者に委託していない。	B	特に問題なし	施設の主たる運営等は第三者に委託していない。	B	特に問題なし。	施設の主たる運営等は第三者に委託していない。	B	特に問題なし。	施設の主たる運営等は第三者に委託していない。	
施設の運営において公共性・公平性・公正性が図られているか	定量的	B	1~2日の保守点検日及び市が指定する施設修繕等による臨時閉園以外の閉園	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4月末から5月は休園としたが、やむを得ない対応と考える。	B	特に問題なし	2月に予定している保守点検日以外は閉園を予定している。	B	特に問題なし。	2月に予定している保守点検日以外は閉園を予定している。	B	特に問題なし。	2月の保守点検日以外は閉園している。	
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	特に問題なし	減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合) 【確認資料例:減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	B	特に問題なし	入園時に減免確認を実施している。	B	特に問題なし。	入園時に減免確認を実施している。	B	特に問題なし。	入園時に減免確認を実施している。	
	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例:ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	特に問題なし	おおりの家の予約台帳、宿帳などはじめ、個人情報のは鍵のかかるロッカーでしっかりと管理している。	B	特に問題なし	おおりの家の予約台帳、宿帳などはじめ、個人情報は鍵のかかるロッカーでしっかりと管理している。	B	特に問題なし。	おおりの家の予約台帳、宿帳などはじめ、個人情報は鍵のかかるロッカーでしっかりと管理している。	B	特に問題なし。	文書は適切に管理され、個人情報などは鍵のかかるロッカーで管理している。
		修繕等、施設保全が適切に行われているか 【確認資料例:事業報告書・実地調査】	B	特に問題なし	施設の特徴を踏まえた上で作成した安全確認のチェックシートを活用した安全確認を始め、利用者が安全・安心に施設を使用できるよう努めている。経年劣化による修繕項目が多くなっている。	B	特に問題なし	チェックシートを活用した安全確認を始め、利用者が安全・安心に施設を使用できるよう努めている。経年劣化による修繕項目が多くなっている。	B	特に問題なし。	チェックシートを活用した安全確認を始め、利用者が安全・安心に施設を使用できるよう努めている。経年劣化による修繕項目が多くなっている。	B	特に問題なし。	チェックシートを活用した安全確認を始め、利用者が安全・安心に施設を使用できるよう努めている。経年劣化による修繕項目が多くなっている。
	備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例:備品台帳・実地調査】	B	特に問題なし	備品台帳を整え管理している。	B	特に問題なし	備品台帳を整え管理している。	B	特に問題なし。	備品台帳を整え管理している。	B	特に問題なし。	備品台帳を整え管理している。	
施設のサービス向上、利用者の定	入園者8,500人/月(100,000人の入園者を目的とした月平均値)	B	4月末から5月の休園、例年多くの参加者があるイベントの中止などから、4月~6月の入園者数は4,474人/月と目標に到達していないが、やむを得ないと考える。	4~5月は休園したため、6月までの3ヶ月は月平均値を確保できていない。	B	夏休み期間である7.8月はキャンプやバーベキュー、川遊びの利用客が多く、7月~9月は13,057人/月と目標を上回った。	9月は年平均を下回ったが、7月~8月は年平均を大きく上回った。	B	12月から客足が低下し、10月~12月は6,510人/月と目標を下回った。	当期の入園者は前年より微増だが、台風被害の大きかった前々年よりは大幅増。ただ、12月の客足は停滞している。	B	6,969人/月、83,624人/年と目標を下回った。例年多くの入園者がある5月の休園、参加者数が多いイベント(ホテルの夕べ、どんど焼き等)の中止が影響していると考えられる。	当期の入園者は前年なみであったが、年間では、5月の休園などで目標には届かなかった。	
	体験講座実施6回以上/月	B	4月末から5月の休園により目標は未達だが、やむを得ないと考える。	休園期間を除き6月から体験講座は実施している。新規の講座が増えている。	B	計画どおり。	新規の講座が増えている。	B	計画どおり。	新規の講座は継続して実施している。	B	計画どおり。	新規の講座も継続して実施しており、目標はクリアしている。	

施設名 **たやけ小やけふれあいの里**

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
増加等を図る方策が図られているか	量的		B	SNSでの情報発信について、園と宿泊施設「おおりの家」、食事処「しろりばた」の更なる連携を図りたい。	休園期間中も含めSNSでの情報発信に努め、入園者は回復基調にある。3館の連携を一層進める。	B	SNSでの情報発信について、宿泊施設「おおりの家」、食事処「しろりばた」、売店「オンガタVIEW」にも更なる連携を図りたい。また、イベント前は発信頻度を高めるなど、SNSの特性を活かしたPRを進められた。	オンガタVIEWも絡めたSNSでの情報発信に一層努め、他の広報媒体も活用して入園者の増加に努める。	B	SNSでは「おおりの家」、「しろりばた」に加えて「オンガタVIEW」にも連携して発信された。	B	オンガタVIEWも絡めたSNSでの情報発信に一層努め、他の広報媒体も活用して入園者の増加に努める。	
	利用者の満足度/年間を通じて実施個別イベントのアンケートを随時実施	B	回収率向上に向けて工夫されたい。	休園もあつたが、滞留させない位置でアンケート調査を行っているため、回収率は高くない。位置を再検討する。	B	引き続き回収率向上に向けて工夫されたい。また、個別イベントでのアンケートを積極的に実施いただき、利用者の声を運営に反映されたい。	B	引き続き回収率向上に向けて工夫されたい。また、個別イベントでのアンケートを積極的に実施いただき、利用者の声を運営に反映されたい。	B	引き続き回収率向上に向けて工夫されたい。また、個別イベントでのアンケートを積極的に実施いただき、利用者の声を運営に反映されたい。	B	引き続き回収率向上に向けて工夫されたい。また、個別イベントでのアンケートを積極的に実施いただき、利用者の声を運営に反映されたい。	
定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	特に問題なし。	苦情等に対しては市への報告も含め迅速に対応している。	B	特に問題なし	苦情等に対しては市への報告も含め迅速に対応することとしているが、上半期で苦情はない。	B	特に問題なし。	B	特に問題なし。	苦情等に対しては市への報告も含め迅速に対応することとしているが、当期も苦情等はない。	
るわ施の経費削減が図られているか	量的		B	4月末から5月の休園、例年多くの参加者があるイベントの中止などから、4月～6月の利用料金収入は999,400円/月と目標に未達だが、やむを得ないと考える。引き続き増収につながる運営を考慮されたい。	イベント等の充実化により、来園者数の増加を図るとともに、利用料金収入の増収に努める。	B	7月～9月ともにコロナ前の同月より上回る利用客数があり、3,176,626円/月と目標を上回った。	この期間、ニジマスつかみと焼き体験の実施回数を増やすなど、来園者数の増加を図るとともに、利用料金収入の増収に努める。	B	10月～12月ともに昨年度より利用料金収入は上がったが、1,748,896円/月と目標を下回った。	B	おおりの家の12月利用者は前年比200人増、468千円増。今後も利用料金収入の増収に努める。	
	光熱水費使用料の削減(電気・水道等で前々年度比700,000円以上の減額)	B	特に問題なし。	引き続き、エネルギーの節減を心がける。	B	特に問題なし	引き続き、エネルギーの節減を心がける。	B	特に問題なし。	B	特に問題なし。	引き続き、エネルギーの節減を心がける。	
い事業の計画に成り果てているか	定性的		B	4月末から5月の休園、6月の営業時間制限により、「ふれあいの里まつり」、「新緑祭」、「ホテルの夕べ」などのイベントを中止したことから目標は未達だが、やむを得ないと考える。	緊急事態宣言下、5月の休園及び営業時間制限などから、新緑祭、ホテルの夕べなどの事業計画で提示したイベントを予定どおり実施できなかった。	B	夏季に人気の高い「ニジマスつかみ」や「星天観望会」を実施した。また、夏休み期間には子ども向けの宿泊イベントを新規で企画し実施した。	夏季シーズンに相応しいイベントを数多く実施し、それぞれ好評を博した。下半期も季節に見合ったイベントを実施する。	B	10月に開催した「たやけふれあいのマーケット」は盛況で、1,250名が訪れた。「やきいも大会」は予約がすぐに埋まってしまっただけであった。	B	やきいも大会など、季節に相応しいイベントを実施する。	
	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B	特に問題なし。	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	朝礼時における省エネへの取組み意識の共有化を図るなど、環境配慮に対する意識の向上を図ったほか、施設全体で節電等の省エネルギーに取り組んでいる。	B	特に問題なし	朝礼時における省エネへの取組み意識の共有化を図るなど、環境配慮に対する意識の向上を図ったほか、施設全体で節電等の省エネルギーに取り組んでいる。	B	特に問題なし。	B	特に問題なし。	環境配慮に対する意識の向上を図ったほか、施設全体で節電等の省エネルギーに引き続き取り組んでいく。
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的		B	防災訓練1回/年 実施 自衛消防訓練1回/年	B	計画どおり。	防災訓練は11月に実施予定。自衛消防訓練は9月に実施する予定。	B	計画どおり。	B	計画どおり。	防災訓練・自衛消防訓練ともに、11月に実施した。	
	AEDの作動チェック1回/日	B	計画どおり。	1日1度AEDの作動確認を実施している。	B	計画どおり。	1日1度AEDの作動確認を実施している。	B	計画どおり。	B	計画どおり。	1日1度AEDの作動確認を実施している。	
	個人情報の取り扱いが適切であること	B	特に問題なし。	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	個人情報の管理は適切に行われ、破棄においてもシュレッダー処理や焼却処理を行う等、適切に行っている。	B	特に問題なし	個人情報の管理は適切に行われ、破棄においてもシュレッダー処理や焼却処理を行う等、適切に行っている。	B	特に問題なし。	B	特に問題なし。	個人情報の管理は適切に行われ、破棄においてもシュレッダー処理や焼却処理を行う等、適切に行っている。
	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料例:保険証券】	B	特に問題なし。	加入済。	B	特に問題なし	加入済。	B	特に問題なし。	B	特に問題なし。	加入済。	
緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	B	昨年度の火災報知器の故障を受け、関連する配線等の工事を追加で実施している。	緊急時のマニュアルや連絡網を整備し、消防・避難訓練も定期的に行う計画を立て、緊急時に迅速・適確な対応ができるよう体制を整えている。	B	配線工事を実施後は特に問題なし。	B	緊急時のマニュアルや連絡網を整備し、消防・避難訓練も定期的に行う計画を立て、緊急時に迅速・適確な対応ができるよう体制を整えている。	B	特に問題なし。	B	特に問題なし。	緊急時のマニュアルや連絡網を整備し、消防・避難訓練も定期的に行う計画を立て、緊急時に迅速・適確な対応ができるよう体制を整えている。	

期末総合評価	B
所管課コメント	コロナ禍ではあるが、感染対策を講じ、入場者数増につなげるための工夫した運営がなされ、昨年度に比べると、入園者数・利用料金収入ともに回復しつつあった。しかし、宿泊者数やそれに伴う飲食利用者数が減っているため、利用料金収入をコロナ前の数値に戻すためには客単価増に向けた更なる取組が必要である。